

# ブラジル金融政策（2023年2月）

財政面の不確実性が高く、利下げ開始には慎重な姿勢

2023年2月2日

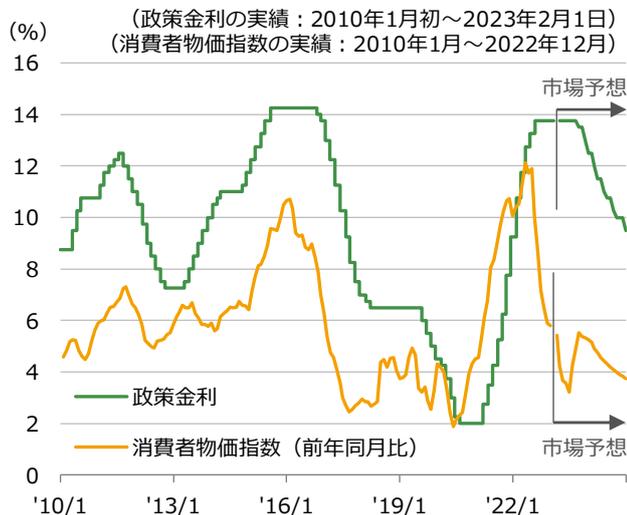
## 4会合連続の政策金利据え置き、インフレ見通しを上方修正

ブラジル中央銀行は2月1日（現地）、金融政策決定会合を開催し、政策金利を13.75%に据え置くことを決定しました。据え置きは4会合連続です。

インフレ率（消費者物価指数・前年同月比）は、昨年4月の12.1%をピークに、12月には5.8%まで鈍化しました。しかし声明文では、特に財政面の不確実性が高いことや、インフレ期待がインフレ目標から遠ざかっていることなどが強調されており、ブラジル中銀は高インフレが定着することへの警戒を維持しているようです。市場の政策金利予想などを前提にしたブラジル中銀によるインフレ率の予想は、2023年末が5.0%から5.6%へ、2024年末が3.0%から3.4%へ、それぞれ前回会合時点から上方修正されており、2024年のインフレ目標レンジの中心である3%を小幅に上回る格好になっています。他方、今回は代替シナリオとして、予測期間を通して政策金利を据え置いた場合にはインフレ率が2023年末に5.5%へ、2024年末に2.8%へ減速するとの予想も示されました。この代替シナリオの前提はやや極端かもしれませんが、ブラジル中銀としては、インフレ抑制を確実にするために市場の想定よりも利下げに慎重な姿勢であることを示したかったのでしょうか。

ルラ大統領からは現行の高金利政策を批判する発言も聞かれますが、ブラジル中銀の独立性とインフレ抑制に向けた断固とした姿勢はブラジル・レアルの下支え要因になると考えられます。

### ブラジルの政策金利と消費者物価指数



※政策金利の市場予想は2023年3月末～2024年12月末  
※消費者物価指数の市場予想は2023年1月～2024年12月  
(出所) ブルームバーク、ブラジル中央銀行

### ブラジル・レアルの対円・対米ドルレート



(出所) ブルームバーク

### 当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。